

平成 26 年第 1 回定例会（小田武人議員一般質問）

○議長 横尾 武志君

8 番、小田議員の一般質問を許します。小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

おはようございます。8 番、小田でございます。通告書に基づきまして、一般質問をさせていただきます。

件名といたしましては、金屋、中ノ浜地区のいわゆる国道 495 号線といいますか、通学路の安全性について。要旨といたしましては、金屋公園の整備と相まって、中学生の登下校時の安全のために、通学路を遠賀川の導流堤に変更するという計画が過去示されておりましたけれども、その後、その進捗状況につきまして、お尋ねをいたします。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

今まで、金屋区、中ノ浜区の区民の方を対象に、地元説明会を 2 回、平成 23 年 9 月 2 日と平成 23 年 11 月 1 日に行いましたが同意を得られず、平成 25 年 3 月 25 日には区長の意向もあり、対象を導流堤と入江文具店の通りに挟まれた区間の方に限定し、意見交換会を実施しました。結果として、通学路変更の同意を得ることはできませんでしたが、今後も協議継続のお願いをして終わっております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

地元の関係者といいますか、今申されました方たちは、大体何名くらいおられますかね。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

対象としては、区間の方が十数軒が対象となっております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

なかなか、導流堤への変更が厳しいということでございますけれども、関係者の皆さん全員が反対という立場でしょうか。

平成 26 年第 1 回定例会（小田武人議員一般質問）

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

全員ではございません。数名の方が特に反対されているという状況でございます。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

反対の大きな理由、これは答えられるならばお願いいたします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

今まで、3 回行いました協議の中で、出て来た意見として主なものを述べたいと思います。国との約束で人を通さないはずだった、それから、通学路にするなら祇園崎までの人との了承が必要だ、それから芦屋橋からそのまま真っすぐ行って、大きな道を遠回りすればいいと、そのほかに中学校のマナーが悪い。自転車で 3 列で行くなどということも、意見としては出ておりました。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

理由としては、多々あるかと思いますが、大きな理由の一つとしてプライバシーの侵害というようなことが言われておるとは思いますけれども、そのことにつきましては、導流堤建設の際に、建設省と地元のほうでの約束事として、この堤防、導流堤には人は通さないという約束がなされたということにつきましては、私も承知をしております。

しかし、当時と現代では、社会状況と違いますか、車社会と違いますか、そういう状況は非常に大きく変化しております。その中でも、車の増加とか、それから自転車利用者の増加等が考えられるわけですが、そのことによって、この通学路の安全が侵されているんじゃないかなというふうに思っております。

こういう社会状況の変化によって、そのことを踏まえて、いま一度、地元のほうと協議を進められる考え方があるのかどうか、お尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

平成 26 年第 1 回定例会（小田武人議員一般質問）

この点につきましては、今まで 3 回行った中で、同意を得られておりませんが、最後の最後にこれは継続して協議をしていきたいというお願いをしております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

山鹿方面からの生徒数、これは大体何名ぐらいおられますか。それと、その中で自転車通学が許可されている生徒の数がわかりましたらお願いいたします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

山鹿方面から芦屋橋を通ってくるということで、山鹿地区からの 1 年から 3 年生までの合計になります。合計が 2 2 8 名、その内自転車の利用者が 1 8 8 名、8 2. 5 %となっております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

非常に多くの生徒たちが、この通学路を利用して登下校しているわけですが、ご承知のとおり、国道といえども道幅が非常に狭く、通過車両も大変多い危険な通学路であると言えます。このことは、地域の人たちも十分に認識してあるだろうというふうに思いますが、そういう中でご承知と思えますけれども、1 月の 2 4 日の夜 8 時 4 0 分ごろに、この通学路の区域において自転車に乗られた高齢者の方が、トラックと衝突され不幸にして、亡くなられております。大変痛ましい事故もここで発生しておるという事実でございます。

幸いにして、今日まで中学生の事故等は発生しておりませんが、ちなみに子どもたちが絡む県内の事故件数をちょっと申し上げますが、小学生が絡む事故これが 1, 0 2 6 件、それから中学生が絡む事故が 5 2 9 件発生しておるということでございます。そういう現在の道路状況からしまして、いつ何どき、この場所において事故が起こっても不思議ではないわけでございます。

そこで、この亡くなられた自転車の事故の経緯は、被害者の方は右側を走行されておったということで、貨物トラックと正面衝突をされ亡くなられたというふうに伺っております。自転車は、先般の一般質問でも私申し上げましたけれども、車と同様に道路交通法が適用されるんだよということでございます。

平成 26 年第 1 回定例会（小田武人議員一般質問）

このことは、十分にやはり、自転車利用者には周知する必要があると思いますが、学校において、子どもたちに教育の現場でどのように自転車走行について周知されておられるのかお尋ねをいたします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

中学校におきましては、年 2 回ほど生徒に対する交通安全の指導を行っております。それから自転車通学を希望する生徒に対しましては、自転車点検の折に、2 列で通行することの禁止、それから歩道を通行することはどういうときかということで、基本的には自転車も車両ですから左側通行になります。それでも、道路工事や左側部分に駐車の手車があったり、自動車の交通量が多いと接触事故の危険がある場合などには、歩道を通りなさいということ。

それから、普通、自転車は歩道通行可という標識があるところは歩道を通っていいよと、それから横断歩道におきましては、自転車に乗ったまま歩行者がいなくて、歩行者の妨げがない場合においては乗ることできるというような指導を行っております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

この通学路の導流堤への変更について、先ほどから地元の皆様方の意向をお伺いしたわけですが、理解をいただくことが非常に困難であるならば、事故が発生する前に通学路の一部変更ということも考えられるんじゃないかと思っておりますけれども、その点についていかがでしょうか。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 岡本 正美君

近いところの道路の中で、現在の中学校の通学路に勝る道路はありません。芦屋保育園の前の道路にしましても、坂道であり両サイドに住宅がありません。それから見通しが全くきかない。そういう状況であります。

また、役場前の駐車場通って行く道路につきましても、途中から道幅が狭くなっており、自転車と自動車が離合できないと、というような状況になっております。こういった状況の中で、今の入江文具店前の道路、大変危険であると、先ほど議員ご指摘のように死亡事故も出てきております。

平成 26 年第 1 回定例会（小田武人議員一般質問）

そういった中で、継続的に通学路変更の協議を続けていきたいと、近々、意見交換会を実施したいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

今、通学路の変更については、現状の通学路周辺より勝るところはないということでございますけれども、一つの路線として、役場の横を通って、そして役場前の信号を左折して、白浜町信号を左折して、校門のほうに向かうと、若干遠くはなりますけどね。この路線については、ご承知のとおり、歩道が整備されております。したがって、道路幅員が狭い場合は、もう歩道を通ってもいいよというような、自転車につきましてはですね、いいよということになっておりますので、ここも一つの検討をする場所としてはあるんじゃないかなというふうに思っております。

いずれにいたしましても、ご承知と思えますけれども、2012年度の県内の通学路の安全点検が行われております。この中で、対策が必要な箇所、これが421カ所あるということでございます。そのうち、この2014年度において、整備するところが55カ所というふうに言われておりますが、この芦屋町におきましては、道路幅員がどこも狭いわけございまして、一番安全策がとれる歩道の設置というのは非常に厳しいと思えます。

いずれにいたしましても、るる申し上げましたけれども、生徒たちを初め、多くの通行者の方々の安全のためにも実効性のある事故防止策を早急に確立されることを期待いたしまして、私の質問を終わります。

○議長 横尾 武志君

以上で、小田議員の一般質問は終わりました。